



カンボジアでは内戦後、教育の復興が行われ、現在の初等教育修了率は、約80%となっています。しかし一方で「障害がある子ども」への教育は遅れをとっており、障害児の小学校修了率は20%に不足しています。エファでは、障害児のライフスキルの向上に向けた取り組みを現地パートナー、行政、地域と進めています。



手に障害を抱えるケングさん

障害があっても未来を拓く



カンボジアでは、コロナ禍によりストリートチルドレンや児童労働を強いられる子どもが増えています。農村部などでは「女の子に、教育は必要ない」と考える保護者もいます。エファでは、児童保護施設や寺子屋教室などの居場所と学びの機会を届けています。



教室に集まった子どもたち

環境に負けずに学び続ける



ラオスでは、ほとんどの小学校に図書室はありません。また教科書すら持っていない子どもたちもいます。エファでは、より多くの子どもたちが「本と触れる機会」を得られるように活動を行っています。自立的な図書室運営の技術指導なども丁寧に行っています。



図書室で絵本を読む男の子

本を通じて自分で育つ

「子どもたちの可能性を信じ寄り添う」

カンボジア、ラオスでは内戦後、現在に至るまで「識字率」や初等教育「就学率」は向上をしてきている一方、農村部や山岳地域では、未だに学校が整備されていなかったり、家庭の経済的問題や文化的な理由により、学校に行くことができない子ども、女の子が大勢います。夢を実現したいと願いながらも、それを叶えることができない子どもたちです。

エファでは、子どもたちが持つ可能性を信じ、寄り添うことを通じ、想像性を思う存分発揮し、自ら未来を拓いていくこと＝「自立」を教育支援を通じて応援しています。

海外事業担当
鎌倉 幸子



「本が子どもたちの教育と生活をかえる」

“図書室に通って字が読めるようになった”
“本が良いことを教えてくれる友達になった”
“両親に本を読んであげられうれしい”

図書室で本に出会ったラオスの子どもたちからの声です。皆さまのご支援が子どもたちの「生きるちから」になっています。

ピエンチャン事務所
ソンパン・パタシト



ご寄付の方法

エファジャパンへのご寄付は税の優遇措置（寄付控除）の対象です

年間3万円の寄付をした場合（税額控除を利用した例）



$(30,000 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = 11,200 \text{ 円} \Rightarrow 11,200 \text{ 円}$ の所得税が還付されます。

1. 郵便局で

同封の「払込取扱票」をご使用ください

払込取扱票通信欄の「歳末募金」にチェック「✓」をいれてください

（寄付金受領証を発行します）

2. 銀行振込で

中央労働金庫 市谷支店 普) 1442725 トクヒ) エファジャパン

三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店 普) 1340692 トクヒ) エファジャパン

いずれかの口座へお振込後、事務局へメールまたは電話でお知らせください

（寄付金受領証を発行します）

3. クレジットカードで

A) QRコード（右）から

B) 「Syncable」→「エファジャパン」で検索

「エファジャパン歳末募金2021」へ

一緒に活動を
支えてください



【Syncable への QR コード】